

山西っ子



鯉のぼりにさわやかな五月を感じました。
(布田の堤)

令和2年5月20日(水) no.6 文責：上田

6月1日からの学校再開に向けて

新聞等の報道でもご承知かと思いますが、先週5月14日(木)に熊本県の緊急事態宣言が解除され、学校再開に向けた段階的な準備を進めることになりました。

本校では、6月1日(月)からの通常登校による教育活動の再開にあたって、今後も換気や消毒の徹底、授業内容や形態の配慮など、感染防止のために必要な対策を講じた上で、5月25日(月)から29日(金)までに2日の地区別登校日を設け、子どもの「心慣らし」「体慣らし」を図ることとしました。休校が長期化した後の学校再開であり、子どもの心のケアにも配慮した指導の必要にも留意することとしています(安全・安心メール及び学校HP参照)。

生活リズムの回復へ

休校の再延長が決まった翌週、5月1日に実施した「臨時休校期間中の生活アンケート」(記述:回答率59.7%)では、

「生活面で気になることや心配なことがある」59.5%

「学習面で気になることや心配なことがある」80.9%

「健康面で気になることや心配なことがある」36.9%

という結果でした。4月18日の1回目のアンケート(選択:回答率94%)で、ほとんどの子どもが自宅で、その約半数が子どもだけで過ごしているという実態の中で、生

活リズムの崩れがあることは想定されてはいましたが、今回のアンケートで子どもの生活の様子を具体的に把握することができました。アンケート後は、学校から家庭へのより積極的な家庭連絡を行うとともに、登校日の学習計画表に基づく家庭学習の指導を行ってきました。21日(木)・22日(金)の登校日には、6月1日(月)からの学校再開に向けた生活リズムの見直しについての再指導を行う予定です。

また、アンケートでは「学習面で気になることや心配なことがある」という回答も多くありました。今後、学校再開後の授業では「3密」を避けるため学習形態等の工夫が求められるとともに、年間の授業時数の確保にも取り組まなくてはなりません。今まで以上に家庭も学習の大切な場であると捉えた指導を行います。ご理解ご協力をお願いします。

【保護者回答の一部】

「テレビゲームやYouTubeなどを普段よりかなりの時間やっています」「早起きできません」「ストレスがたまっています」「生活のリズムが整えても、長期登校してないことで少しずつ休み慣れし、先が見えないので当初よりも新学年の意気込みも消失し、気が緩みつつある」「友達と話したいと言うようになりました。人との関わりの機会をなくしていることがどのように影響してくるのか不安です」・・・etc